

講義コード	11C0105002	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員	千葉 慶	開講期	第2期
科目名	ジェンダーとは何かB					千葉 慶		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	「ジェンダー」というものは、非常にわかりにくい。それは見えないからである。そこで、本講義では、ヴィジュアル資料を用いることで、見えないはずのジェンダーがいかに描かれているかを分析することで、可視的かつ明確にジェンダーを捕捉する術を提示する。また、ジェンダー分析による表象読解の方法論の提示によって、受講者がジェンダー分析の方法論に親しみ、ジェンダー規範に冷静に向き合うための手段を身に付けさせる。								
到達目標	受講者が自分の身近に存在しているジェンダー規範の所在に自覚的に気づき、また、把握することが可能になること。現状では「なんとなく」やりすごしてしまい認知できていないジェンダーに関わる問題について、少なくとも自分の言葉で説明できるようになること。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	この科目では、60時間以上の授業外学修を行うこと。各回の授業で扱う項目について、配布されたプリントを再読し、次回までに理解できた点、理解できなかった点を明確にして講義に臨むこと。講義のセクションの区切りごとに、質問事項を指示するので、翌週の講義中にレポートで提出すること。								
授業計画	<p>【第1回】イントロ1 ジェンダーとは何か、なぜジェンダー分析を学ぶのか</p> <p>【第2回】イントロ2 「女らしさ」「男らしさ」</p> <p>【第3回】イントロ3 平安時代の恋物語とジェンダー</p> <p>【第4回】本編1 「母性」の表象 悲母観音を読む</p> <p>【第5回】本編2 男たちはなぜヌードを描くのか：美学的回答</p> <p>【第6回】本編3 男たちはなぜヌードを描くのか：ジェンダー分析的回答</p> <p>【第7回】本編4 アイデンティティとジェンダー・イントロ『君に届け』を読む</p> <p>【第8回】本編5『借りぐらしのアリエッティ』を読む</p> <p>【第9回】本編6『ドラえもん』を読む1 ジェンダーアイデンティティと家族の関係</p> <p>【第10回】本編7『ドラえもん』を読む2 永遠に成熟しないのび太</p> <p>【第11回】本編8 メロドラマの想像力とは何か『白雪姫』を読む</p> <p>【第12回】本編9 天皇制下のメロドラマ『ハワイマレー沖海戦』を読む</p> <p>【第13回】本編10 脱メロドラマの物語 萩尾望都『イグアナの娘』岡崎京子『PINK』を読む</p> <p>【第14回】本編11 クィアに見れば『大阪ハムレット』を読む</p> <p>【第15回】まとめ</p> <p>なお、以上はあくまでも「計画」である。講義の進捗状況によっては多少のスケジュールのズレや一部省略もあることをあらかじめ承知されたい。</p>								
成績評価の方法	学期末のレポート40%、講義への取り組み姿勢および平常点60%による。								
フィードバックの内容									
教科書									
指定図書									
参考書	『図解雑学 ジェンダー』加藤秀一、海老原暁子、石田仁（ナツメ社）2005年								
教員からのお知らせ	講義においては私語を慎むこと。何度注意しても改めない場合は退室を求める。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									